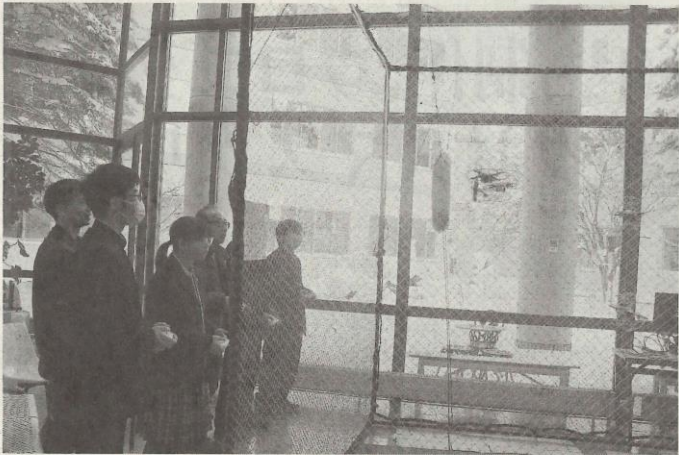




報道で紹介された美瑛高校 36

◆令和6年 12月 21日(R6. 12.28 北空知新聞)

北空知新聞にも掲載していただきました。全道で本校の取組が紹介されています。生徒、地域の皆さんにとって実りのある活動にしていきたいと思います。



美瑛高の生徒招き、ドローンサッカーの体験会

拓大道短大ドローンサッカー部(大田優斗部長)は二十一日、道立美瑛高の教員、生徒らを同短大に招き、体験会を開いた。今秋発売した美瑛高ドローンサッカー同好会に所属する四人が競技用ドローンの操縦方法や、試合でのテクニクを学んだほか、大学生と試合を行い、熱戦を繰り

経歴豊富な大学生と熱戦を展開した美瑛高の生徒ら

拓大道短大で 大学生VS高校生の試合も

拓大道短大ドローンサッカー部は二二年度、同好会として誕生。部に昇格した翌二年、道内の三大会で優勝を果たすと、今年十一月にドローンの体験イベントを開き、ドローンサッカー同好会も立ち上げた。

拓大道短大での体験会は、同短大ドローンサッカー部の上西孝明助教と美瑛高の天野潤也教頭がイベントを通じて知り合ったことをきっかけに、競技の普及やチームの技術向上、高大連携を図ることを目的に企画された。

この日、美瑛高の生徒たちは、ドローンの基本的な操縦方法やメ

ンテナンスに必要な知識、勝利を引き寄せるためのテクニクなどを学び、午後からは同短大生と対戦した。ホールに設けられたゲージで、大学生と試合。一時はリードするなど見せ場を作ったが、実力と経験に勝る大学生に惜敗した。

美瑛高一年の千脇温杜(ちわき・はると)さん(同校一年)は「いいところも見せられた

ンテナンスに上手だった。守りの大切さを再認識した」。高校生の挑戦を受けた拓大道短大の大田部長(農学ビジネス学科二年)は「高校生が楽しんでプレーしてくれて良かった。ドローンサッカーを通じて新たなつながりを作ることができた。来年はこの場所で大会を開いてもらえたら」と笑顔で話していた。

今号で年内の発行

本紙は今号で、年内の発行を終了し、春特集号となります。本年のご愛読に、